

# 日蓮聖人門連だより

発行  
日蓮聖人門下連合会  
〒146-8544  
東京都大田区池上1-32-15  
電話 (03) 3751-7181

平成19年9月23日  
第36号

## 『立正安国論』奏進750年 現代における教化活動とは

### 第5回 本門法華宗

# 『立正安国論』奏進750年を控えて

本門法華宗 宗務総長 信隆日系

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

#### 立正安国の大理想

当宗では、来る平成十九年十  
一月に大本山「妙蓮寺」の別当  
初代「日應僧正」の五〇〇遠忌  
を迎えます。現在宗門・本山に  
於てその準備を鋭意進めており、  
去る平成十四年に奉修された  
「立教開宗七五〇年」の砌に掲  
げた「ひろめよう・伝えよう・  
お題目を」のスローガンを引続  
き受け、五〇〇遠忌の円成を目  
指しているところであります。  
そもそも『立正安国論』は、  
日蓮聖人が文応元年（一二六  
〇）七月十六日に鎌倉幕府が百  
四十年余続いた内、百十年余に  
亘り政治を治めていた当時の執  
権北条時頼氏に『立正安国論』  
を献上されてよりあと二年余で  
七五〇年を迎えます。



大本山妙蓮寺

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

その『立正安国論』の文章の  
一々の内容、文言等の解釈・解  
説については、各法兄、識者諸  
氏に委ねることとし、同論の流  
れを簡単に記しますに、  
全体の文章が十段に分けられ  
ていて、旅客と主人とを仮説し  
て問答式に述べられています。  
旅客の第一段の問いの答えで  
は、世の信仰が皆間違っている。

第二段の答えでは、金光明  
経、大集経、仁王経、薬師経等

《リレー提言④》門連の歩みと次代への発信

『立正安国論』の現代に於ける意義



法華宗本門流宗務総長 門下連合会常任理事 原井慈鳳

門連の目ざしたもの

『立正安国論』が七百年を迎えた昭和三十四年八月十九日(旧七月十六日)『立正安国論』が東京神田に於て開催され、その時門下十教団が結集しました。その大会宣言に「異体よく同心して信行の躍進を誓い迷信邪見を排除して立正安国の洪願を堅持し、もって理想の平和国土たらしめ、ひいて世界絶対平和の実現を期して真に奮起せんとするものである」と表明されました。翌三十五年二月二十五日「日蓮聖人門下連合会」は発足いたしました。追って昭和四十一年五月十一日、門連大講演会が日比谷公会堂で開催され「破邪顕正、立正安国、恒久平和の実現へ邁進することを強く誓うものである」と満場が高唱したのです。

『立正安国論』の真意とは

今日『立正安国論』は大きな注目を集めており而して門下の中に諸論がある事も事実です。『立正安国論』と『立正安国論』は「区別すべきか」とか「宗祖の本意は撰受か折伏か」とか「封印説」まで『立正安国論』の真意を問うものであります。さらば『立正安国論』を我々は如何に心得るべきかは重要な問題でありましょう。

鎌倉の混乱した世相と今日の

世相を単純に比較して同様とする見方がありますが、その背景内容は著しく変化している部分があります。特に世の中のしくみ、自然環境破壊の進行は比較すべくもありません。ただ今は、政・官の横暴と企業道徳の低下、教育の荒廃と命の軽視、戦争を

容認する如き恒久平和に対する感覚の後退等、人々に利己主義が横行し、目前の「損か得か」「好きか嫌いか」を価値基準とし、国民や子孫のために「有益か否か」の判断が失われているのです。

教義と菩薩行の実践

鎌倉の世にそれまで日本人が持ち得なかった「国民」という概念、「国民の幸福」という概念を宗祖はすでにお持ちであった事を私は強調したいと思えます。当時の国の指導層や、各宗派が自身の繁栄の為に競い国民を顧みない有様を宗祖は見過ごせなかつたのです。国王・国土を念頭に置くと同時に「万民」「人民」の表現により「国民」を強く意識しておられました。国民が生きる道を正法の中に見出し菩薩行を示されたと考えられましょう。

最近「勝劣」とか「一致」とか

言っている場合ではないとの論調が散見されます。諸宗の融和のためですが、一方、教義には大きな意味がないのでしょうか。信仰も日々の実践も教義に裏打ちされてはじめて生きてきます。教義がなければ宗教はありません。お題目なら新興宗教も新々宗教も同じと容認できましようか。「破邪顕正」の門連の誓言を思わずにはおられません。今日の世法、仏法が混乱していることを思う時『立正安国論』の次の一節は心に響きます。「法師は諂曲にして人倫を迷惑し王臣は不覚にして邪正を弁ずることなし」

「汝早く信仰の寸心を改めて実乗

の一善に帰せよ」を胸に罪障消滅の供養を行じ、道を失った今日の社会に法華経の心「菩薩道」という「道」を示し行じて参りたいものです。

か。一般的には結婚式はチャペルで、法事は寺院で、お祓いは神社で、仏生日よりクリスマスの方が盛大な国民的行事になっている表面上の仏教国。宗教や文化を大切にしない風潮は人の生き方をあいまいにして来ました。そして大人も子供も人が何のために生きるのか解らないのです。

「開目抄」に撰受、折伏ありと説かれております。化儀(導く形、方法)の面は撰受です。誰に対しても優しく接するべきと思えます。しかし化法(教法の化身)の折伏は末法に仏の種をまくことと存じます。正法を唱え説くことと決して強引に教法を押しつけるやり方ではありません。異体同心は正法の上であり、世の不合理にも流されることではありません。即ち宗祖の真意は「化法の折伏」にあります。

今日世に私達が直面する難問に鎌倉時代の『立正安国論』をそのままあてはめる事は困難です。宗祖の御心、根本精神を誤らずに今日の『立正安国論』を打立て実践する事が必要となっておりま。鎌倉時代に対応する「日蓮聖人教」から現代のかかえる難問にも対応できる「日蓮教学」を求めて行かねばならないと存じます。

宗祖の大難小難を超越した信心のお姿を手本として、恒久平和のために教義の実践面でも門下が協力できる面を協力し切磋琢磨できれば意義深いことと存じます。「汝早く信仰の寸心を改めて実乗の一善に帰せよ」を胸に罪障消滅の供養を行じ、道を失った今日の社会に法華経の心「菩薩道」という「道」を示し行じて参りたいものです。

Advertisement for Tairiku Tours & Leisure, Ltd. featuring a landscape image and text: 仏蹟参拝は大陸旅遊, 株式会社 大陸旅遊, TEL 03-3376-2511 FAX 03-3376-5280

平成二十一年七月十六日は  
『立正安国論』奏進七五〇年  
を迎えます



(平成十九年九月現在)

### 日蓮宗宗務院

管長	酒井 日慈	財務部長	駒野 教源
宗務総長	小松 淨慎	宗務総長室長	長 亮行
伝道局長	伊東 隆司	現代宗教学研究員	田澤 元泰
総務局長	張田 珠潮	参 与	堀江 宏正
伝道部長	梶山 寛潮	参 与	浅井 玄裕
教務部長	渡辺 照敏	日蓮宗新聞社長	伊東 正光
総務部長	藤岡 暎邦		

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五  
電話 〇三(三七五)七七八一  
FAX 〇三(三七五)七七八六

### 法華宗(本門流)宗務院

管長	有原 日龍
宗務総長	原井 慈鳳
教学部長	桃井 晋城
教化部長	杉村 眞宏
庶務部長	矢吹 慈英
財務部長	加藤 信淨

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-一九-一  
電話 〇三(五六一)三〇五五代  
FAX 〇三(五六一)三〇五六

### 顕本法華宗宗務院

管長	中村 日玄
宗務総長	藤崎 広学
宗務次長	島田 幸晴
財務部長	藤崎 行学
布教部長	早川 義正
社会部長	阿曾 久成
教務部長	古瀬 久馨
庶務部長	津村 乗信

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一  
電話 〇七五(七九二)七二七一  
FAX 〇七五(七九二)七二六七

### 法華宗(陣門流)宗務院

管長	椿澤 日壽
宗務総長	土屋 善敬
総務部長	佐古 弘文
教学部長	田邊 円祥
教化部長	佐古 大弦
財務部長	牧野 秀成
宗務参事	金原 孝宜

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六  
電話 〇三(三九一)七二九〇  
FAX 〇三(三九一)七二九〇

### 本門佛立宗宗務本庁

講 有 小山 日誠	
講 尊 梶本 日裔	
講 尊 野崎 日丞	
宗務総長	佐藤 日鳳
宗務副総長	梅田 日芳
宗務副総長	嶋田 幾雄

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東整町二-一〇番地  
電話 〇七五(四六一)一一六六代  
FAX 〇七五(四六一)五五九九

### 日蓮本宗宗務院

管長	嘉儀 日有
宗務総長	原 智功
総務部長	長崎 秀要
財務部長	原田 智光
教務部長	原 光明

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上北法皇町四四八  
電話 〇七五(七七二)三三九〇  
FAX 〇七五(七七二)五九一四

### 法華宗(真門流)宗務院

管長	田中 日生
宗務総長	竹内 正道
総務部長	上田 浩岳
教学部長	蓑輪 溪玉
教化部長	木村 完祥
財務部長	堀村 智泰
社会部長	井上 隆啓
主 事	足立 真正
主 事	山口 英泰

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五上上北紋屋町三三〇  
電話 〇七五(四四二)五七六二  
FAX 〇七五(四四二)五七六六

### 本門法華宗宗務院

管長	高邊 日援
宗務総長	信隆 日雄
宗務部長	増田 隆彦
総務部長	吉村 信教
財務部長	土畑 信全
教務部長	音羽 隆喜
庶務部長	真鍋 弘雄
門連常任理事	山 下 通雄

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五  
妙蓮寺 内  
電話 〇七五(四五二)三五二七  
FAX 〇七五(四五二)三五九七

### 宗教法人 国柱会

主 田中 壮谷	
理事長	安中 又六
門連常任理事	本間 直暉
門連(たより)編集委員	森山 真治

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九一八  
電話 〇三(三五六)七二二一代  
FAX 〇三(三五六)九九八〇  
<http://www.kokuchukai.or.jp>

### 京都日蓮聖人門下連合会


会 長	永田 日洵
副会長	田中 日生
理事長	藤井 照源
副理事長	本田 信正

京門連事務局  
〒606-8376 京都市左京区二条通川端東大菊町九六  
頂妙寺布教会館内日蓮宗京都府第一部宗務所内  
電話 〇七五(七六二)二四一一  
FAX 〇七五(七五二)九三三八

### 日本山妙法寺大僧伽

首 座	塙 行幸
長 老	石山 定光
長 老	吉田 行典
長 老	酒井 天信
長 老	今井 行康
長 老	二宮 和嘉
長 老	池田 行朗

日本山妙法寺大僧伽事務局  
〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七一番地  
電話 〇四二(三七八)三三九五  
FAX 〇四二(三七九)〇七四四

<p>日蓮宗総本山 <b>身延山久遠寺</b></p> <p>法主 内野日総 総務 井上瑞雄</p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(六二)一〇一一 FAX 〇五五六(六二)一〇九四</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>池上本門寺</b></p> <p>貫首 酒井日慈 執事 早水日秀 役員 一同</p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一一―一 電話 〇三(三七五)二二三一 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p>	<p>法華宗(本門流)大本山 <b>鷺山寺</b></p> <p>貫首 大塚日正 執事 高橋洋山 役員 一同</p> <p>〒297 0051 千葉県茂原市鷺巢四八 電話 〇四七五(二二)二九七八 FAX 〇四七五(二二)三〇三八</p>	<p>顕本法華宗総本山 <b>妙満寺</b></p> <p>貫首 中村日玄 総務 島田幸晴 執事 山本晃道 執事 中村英司 執事 湯原正純 執事 小川正義</p> <p>〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九)七二七一 FAX 〇七五(七九)七二六七</p>
<p>法華宗(陣門流)総本山 <b>本成寺</b></p> <p>貫首 椿澤日壽 執事 栗田孝之 執事 鈴木原壯 執事 近藤公正 執事 荒川顯孝 執事 五十嵐義昭</p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 <b>本隆寺</b></p> <p>貫首 田中日生 執事 本多信正 執事 足立真正 執事 永岡悠正 書記 笹木研吾</p> <p>〒602 8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四)五七六二 FAX 〇七五(四四)五六六六</p>	<p>本門法華宗大本山 <b>妙蓮寺</b></p> <p>貫首 高邊日援 執事 石崎光教 役員 一同</p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五)三五二七 FAX 〇七五(四五)三五九七</p>	<p>多寶富士山 日蓮宗 <b>本山要法寺</b></p> <p>貫首 嘉儀日有 大学 原丹智遠 執事 原長智功 執事 原田秀要 執事 原田智光</p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七)三三九〇 FAX 〇七五(七七)五九一四</p>
<p>本門佛立宗本山 <b>宥清寺</b></p> <p>住持 小山日誠 執事 中西清乘 事務局長 伊藤隆之</p> <p>〒602 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ノ鼻町一〇五一 電話 〇七五(四六)四六二〇 FAX 〇七五(四六)四六五一</p>	<p>日蓮聖人出家得度の霊跡 大本山 <b>清澄寺</b></p> <p>別当 岡崎日泰 執事 佐々木光道</p> <p>〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一 電話 〇四(七〇九)〇五二五 FAX 〇四(七〇九)〇五二七 団参には是非、研修会館をご利用ください。一六〇名様まで可。</p>	<p>京都八本山会</p> <p>大本山 妙願寺 貫首 南條孝仁 大本山 本圓寺 貫首 吉田宏遠 本山 頂妙寺 貫首 永田恵遠 本山 妙覚寺 貫首 頂岳龍乘 本山 本満寺 貫首 伊丹榮彰 本山 本法寺 貫首 大塚泰詮 本山 立本寺 貫首 上田尚正 本山 妙傳寺 貫首 野々垣泰典</p>	<p>日蓮宗靈跡本山 比企谷 <b>妙本寺</b></p> <p>貫首 加藤日暉 執事 立野正泰 山務役員 一同</p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一―一五―一 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二二)六九六七</p>
<p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 <b>富士山重須本門寺</b></p> <p>貫首 本間日諄 参 井出教道 参 井野上正文 参 与 藤先博明</p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>法華経寺</b></p> <p>貫首 新井日湛 執事 藤井智光 参 与 田代浩敬 同 渡辺行俊 同 植田観樹 同 吉田文堯</p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二―一〇―一 電話 〇四七(三三四)三三三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 <b>堀之内妙法寺</b></p> <p>山主 嶋田日新</p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三一―四八―八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p>	<p>日蓮宗本山 <b>頂妙寺</b></p> <p>貫首 永田完修 参 与 山田信行 同 伊藤隆司 同 藤東照源 同 藤井知孝 同 川合陽雄</p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七)〇五六二 FAX 〇七五(七五)一〇〇四</p>
<p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 <b>藻原寺</b></p> <p>貫首 持田日勇 総務 増田寶泉 執事 富永一道 役員 一同</p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一 電話 〇四七五(二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二)一一七三</p>	<p>宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 <b>誕生寺</b></p> <p>宗祖御降誕八百年に向かつての祈り</p> <p>貫首 石川日命</p> <p>〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三 電話 〇四(七〇九)二六二二</p>	<p>徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 <b>瑞輪寺</b></p> <p>除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安</p> <p>貫首 井上日修</p> <p>〒110 0001 東京都台東区谷中四―二―一五 電話 〇三(三八二)四三三七 FAX 〇三(三八二)七〇三三</p>	<p>平成三十三年二月十六日は 宗祖御降誕八百年を 迎えます</p> <p>平成十九年九月現在</p> 

# 門連時報

## 身延理事会開催さる

平成十九年五月二十九日(火)日蓮宗総本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、全国日蓮聖人門下連合会顧問・常任理事・理事・監査・京都門下連合会代表・大阪門下懇話会代表など計二十一名が参加した。

午前十一時に集合し、祖廟並びに御草庵にて法味言上。その後常唱殿前にて記念撮影。続き、大本堂にて法味言上し、報恩閣に移動。午後二時より理事会が開催された。

日蓮聖人門下連合会 小松浄



身延理事会 (平成19年5月29日)

慎理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。先に「平成十八年度事業報告」を事務局より報告、常任理事会・理事会・監査の開催、門連だより発行に関する機関紙編集委員会の開催、各派門連役員の変更等についての報告がなされた。

次に、「平成十八年度決算報告」について事務局より報告後、齊藤隆彦監査より監査会での報告がなされ一同承認。

次に、「平成十九年度事業計画案」について事務局より報告、前年度同様祖廟参詣、理事会開催、門連だよりの年一回二十六号・三十七号の発行について説明を行い、それに伴い「平成十九年度予算案」についても承認。

また、「日蓮聖人御降誕八百年記念事業」について、平成十九年度はより具体的な組織作り、活動に取り組みよう要請された。

次に、地方門連活動に関する報告。京都門下連合会藤井照源理事長より、京都門下では開宗会を恒久的に横川定光院に於いて開催することを平成十八年度

古来より宗祖御遺命の帝都開教は先駆をなした日像上人以来、数多くの先師先聖が上洛し、天文元年の頃には二十一ヶ本山を擁して「京中大方題目の巷」と称されるに至りました。その隆盛に至るまでの法難は数知れず、安土法難や天文法難など、宗門内外の激しい対立を克服しながら、今日、日蓮宗八本山は確固とした団結の下に、この京の地に法域を護持しています。

しかし、昭和十六年の本末解消以来、各本山は厳しい現実を直視しています。今回企画提案された「京都八本山巡り」運動は、戦後六十年を経た現代の宗門の本山を総括し、これからの本山のあり方、未来への展望を見極めていく大きな意味を含んでいます。

この運動を契機に、法華経の信仰、ひいては日蓮宗門の真の方向性を模索し、積極的な社会参加を実現する一方針を示唆できればと考えています。

時あたかも宗祖比叡山横川定光院の御霊跡が甦り、「立正安国論」奏進七五〇年を迎えようとする今、光をはなつ八本山巡

理事会にて決定、との報告と併に、今年度の京都理事会の開催日程として十一月中旬頃予定との案が出された。大阪門下懇話会和田龍昌師からは、大阪門下合同御会式等、懇話会の平成十八年度諸活動について報告がなされ、第二十回総会や第十五回日蓮聖人報恩

合同御会式等の平成十九年度事業計画案も出された。

その他の事項では、日蓮宗より、「立正安国論」奏進七五〇年記念事業」として、「日蓮聖人展(仮称)」を提案し、京都国立博物館において「立正安国論」の展示を目玉とした期間平

成二十一年十月十日〜十一月二十三日の案が出され、今後は門下連合会と京都門連が前向きに事業を進めていくこととなった。

午後三時三十分閉会。

会場を日本平ホテルに移し、午後六時より懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めた。

## 〈日蓮宗京都八本山企画〉 日蓮宗京都八本山巡り 御朱印軸スタート

りをスタートします。

尚、日蓮宗京都八本山巡り御朱印軸は、八本山、日蓮宗新聞社で取扱っています。

(藤井照源)



年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成一九・四・一七	中山日暁師	顕本法華宗	顧問	就任	退任
平成一九・五・一	杉若恵隆師 藤井照源師	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成一九・五・二二	相澤安明氏	国柱会	理事	退任	
平成一九・五・二九	齊藤隆彦師	法華宗真門流	監査	退任	
平成一九・六・一	岡本日豆師 有原日龍師	法華宗本門流	顧問	就任	退任
平成一九・六・三〇	桐生信行師	日蓮本宗	常任理事	就任	退任
平成一九・七・一	原智功師	別所日山師	監査	就任	退任
平成一九・七・一七					

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔...

宗門唯一の  
伝道紙

# 日蓮宗新聞

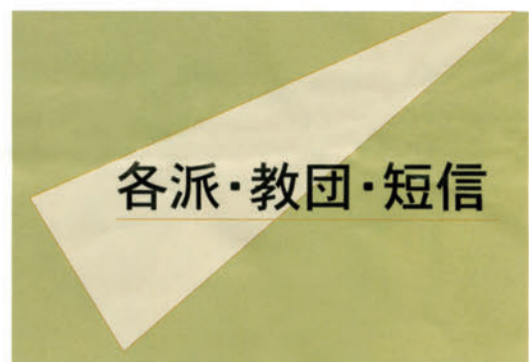
毎月1日・10日・20日  
年間購読 3,600円(送料込)

# 教誌 正法

年4回発行 年間購読 1,700円(送料込)  
一冊350円(送料別)

お正月(1月号) 春季彼岸(3月号) お盆(7月号) お彼岸・お会式(9月号)

お申込みは 日蓮宗新聞社まで 〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3 電話03-3755-5271 FAX03-3753-7028



# 各派・教団・短信

## 日本山妙法寺

◆三月九日、十四日、英国オールド・ロンドン平和巡礼。  
 ◆四月二十七日、千葉清澄山道場にて立教開宗会並びに得度式。  
 ◆五月三日、東京多摩仏舎利塔記念法要。八日、二十四日、広島、阿蘇平和巡礼。二十六日、阿蘇山仙酔峽仏舎利塔第四十周年記念法要。二十七日、恩師日蓮聖人第二十三回忌追善法要。並びに阿蘇御廟所開眼法要。英国元大ロンドン市議会議長イルテッド・ハリントン先生の挨拶。  
 ◆「藤井グルジー」はその出家の当初からこの聖者は二十世紀の悲惨さをすでに見ていたのです。しかし、それがいかに怖ろしいものであろうと、聖者はけつて逃げなかつたのです。藤井グルジーの明晰さと普遍性は、今日のどの時代にも増して価値を持っています。  
 ◆六月十六日、八月三日、東京、広島平和祈念行脚。  
 ◆七月十五日、八月六日、米国北西部諸宗教合同平和行進(オレゴン州ユージーン・シアトル・グランドゼロ)。  
 ◆八月二十四日、西天開教記念法要(熱海道場)。二十五日、身延山奥之院記念碑参拝。  
 ◆十一月十四日、インド国首都デリー仏舎利塔落慶大法要。(十三日前夜祭、藤井日蓮「もし、西天にこの法、還らざれば高祖の予言、地に墜ちなん。もし西天にこの法還らざれば我等が菩薩行立つべからず。もし西天にこの法還らざれば娑婆の衆生は永く火刀血の牢舎を

## 日蓮宗

出づる期あるべからず」。(牧野行輝)  
 ◆「立正安国」お題目結縁運動「発願大会が九月十日、十一日、総本山身延山久遠寺で開かれた。初日には酒井日慈管長現下を大導師に発願法要が営まれ、僧侶檀信徒一体で立正安国・お題目結縁運動を展開していくこと決意した。  
 ◆「千鳥が淵戦没者追善供養並びに世界立正平和祈願法要」が八月十五日、千鳥が淵戦没者墓苑で小松淨慎宗務総長を導師に営まれた。法要には東京四管区の僧侶が出陣し、僧侶檀信徒が参列し、戦地で散った戦士の魂の安らぎと、二度と戦争を起こしてはならない決意を新たにしました。  
 ◆日蓮聖人が「立正安国論」の構想を練られた本山實相寺の一切経蔵に入蔵なされてから今年で七十五周年を迎え、「日蓮大聖人八歳七五〇年報恩宗門法要」が六月十四日、静岡県富士市の本山實相寺(豊田日穂貫首)で酒井日慈日蓮宗管長(大本山池上本門寺貫首)を大導師で営まれた。  
 ◆「行動ムーブメント」をテーマに全国日蓮宗青年会(河崎俊宏会長)は五月二十一日、二十二日、「第四十五回全国日蓮宗青年僧大結集」を大阪市内のホテルで開き、全国から青年僧約二百三十人が集結した。  
 ◆日蓮聖人のご尊父、妙日尊儀のご入滅なされてから七五〇回忌の節目を迎え、「聖父妙日尊儀第七五〇回忌報恩法要」が五月十三日、十四日に、千葉県鴨川市の宗門史跡妙蓮寺と大本山小湊誕生寺で営まれ、日蓮聖人の両親への思いを体し孝養の誠を捧げた。(大澤宏明)

## 法華宗本門流

◆宗門の僧侶養成機関「興隆学林専門学校」(尼崎市・大本山本興寺内)学林長、三浦成雄先生が三月三十一日付で任期満了により退任。後任に小西徹龍学監(神戸市・法華寺住職)が四月一日付で就任した。小西学監の学林長就任に伴う後任の学監には、株橋祐史教授(枚方市・大隆寺住職)が同日付であわせて就任した。四月九日には平成十九年度入学式が行われた。本年の新生は二十名。  
 ◆五月十三日、大本山本興寺貫首有原日龍現下が第百二十八代法華宗管長に就任、同日推戴式が同本山において奉修された。あわせて六月一日付で門下連合会顧問に就任された。  
 ◆第六十次定期宗会が二十一、二十三日に宗務院で開催され、原井総長の施政方針に続き、予決算の承認可決、法規の一部改正等、十五議案を議定して無事閉会。  
 ◆全国宗務所長会が二十九、三十日に宗務院で開催され、本年度の宗務執行等十九議題を協議して閉会。  
 ◆六月十八日、菩薩行研究所開所式が宗務院で行われた。昨年の宗会で承認された法華宗宗祖・開基・先師聖人報恩奉讃会の事業の一環として、法華宗の教義の現代的意義を解明し、時代に適応する菩薩行の実践(信心・奉仕・布施)に寄与する目的で宗務院内に設置された。去る三月九日には研究所主催で地下鉄サリン事件被害者の会代表世話人である高橋シズエ氏による講演会が宗務院で行われた。現代の社会問題の一つとして犯罪被害者の現状について発表された。(法華宗布教機関誌「無上道」五月号に発表内容掲載)  
 ◆本年度開催の教学講習会は、次の五会場。北海道―八月二十五日、二十七日(札幌市・札幌サンプラザホテルで開催)、東北―九月二十七日、二十九日(盛岡市・ホテル大観)、東京―十月三日、五日(東京都・法華宗宗務院)、淡路―十月二十二日、二十四日(淡路市・津名ハイイツ)、九州―八月二十七日、二十九日(鹿児島市・エスポワールタナカで開催)  
 ◆六月初旬、法華宗のホームページをリニューアル。  
 U R L は <http://www.hokkeshu.or.jp> (三浦賢秀)

## 顕本法華宗

◆二月十六日、品川の天妙国寺で「妙塔学林研究科」が開催された。教学研究所所員・窪田哲正師を講師に、常葉院日経上人著「本迹勝劣問答記録」の拜読と解説をした。  
 ◆三月八日、九日の二日間、京都総本山妙満寺において第六十二次定期宗会が開催された。平成十八年度事業・決算報告、平成十九年度事業・予算案等が審議された。また、中山日暁現下の任

## 法華宗門流

期満了に伴い新たに千葉・円寿寺住職・中村日支現下が管長に推戴された。  
 ◆四月十九日、京都総本山妙満寺で顕本法華宗管長・総本山妙満寺貫首第三百四世・中山日暁現下、第三百五世・中村日支現下の法灯承継式が厳粛に奉修された。祝賀会はグランドプリンスホテル京都で盛大に行われた。  
 ◆五月十二日、十三日の両日、京都総本山妙満寺で春季大法要を厳修。併せて阪神淡路大震災犠牲者の十三回忌法要を奉修、俳優大村崑氏の記念講演も行われた。  
 ◆七月二十四日、二十七日の間、京都妙満寺で第四十四回顕本法華宗青年僧結集会開催。お経練習・札儀作法・U S J 見学・伏見散策と九十名の小中学生が小さな修行を体験した。(小島芳明)  
 ◆二月三日、総本山本成寺において「節分鬼踊り追儺式」が、貫首・椿澤日壽現下御導師のもと厳修された。  
 ◆三月八日、九日、第百八次定期宗会が開催された。  
 ◆四月十二日、布教研究所報編集会議が開催された。二十七日、宗務所長が開催された。  
 ◆五月十日、布教研究所員会が開催された。十二日、伊豆・霊跡別院連着寺において、「娑婆法華会」が厳修され、本年も全国寺院よりの檀信徒が参拝した。五月十三日、六月二十一日までの四十日間、総本山本成寺において、「法華宗学林」が開講され、全国より寺院徒弟が集まり、行字二道に精進した。二十五日、二十七日までの三日間、総本山本成寺において「祀堂法要」が、日壽現下御導師のもと厳修され、全国寺院よりの檀信徒が参拝した。  
 ◆七月六日、宗学研究報編集会議が開催された。二十七日、宗法審議委員会が開催された。(以上、特に断りのない場合は、東京・菓鴨の宗務院会議室にて開催)  
 ◆二月二十二日、総本山本隆寺に於いて各教区所長、布教師の合同会議が開催され、本年度各教区の活動計画の報告と、布教計画の作成が行われた。  
 ◆三月九日、総本山本隆寺第百四世、

## 法華宗真門流

田中日生現下晋山奉告法要が、門末僧侶、檀信徒多数出席のなか日生現下大導師のもと、古式に則り厳粛に奉修された。二十五日の能登半島地震により、一心寺(七尾市)、慈照寺(羽咋市)等、門末寺院に被害があった。二十六日、二十八日の三日間、総本山本隆寺に於いて第二十四回僧風林が開催された。  
 ◆四月七日、二十六日まで、春季学林が開講された。十一日、十三日の三日間、総本山本隆寺に於いて「春季大法会」が厳修された。  
 ◆五月十五日、十六日の二日間、第三教区研修会が開催された。二十日、二十二日の三日間、第一教区檀信徒の集いが開催された。  
 ◆六月四日、八日までの五日間、兵庫県丹波市妙壽寺に於いて、第十期布教師養成所(左神信学所長)が開所された。二十一日、真門教学講習会が開催され、午前中「寺門の護持と税務について」と題して川中清司氏が講演され、午後は「立正安国論」に学ぶ」と題して林日圓現下が講義をされた。(森田量哲)

## 本門法華宗

◆三月二十七日、第九十四回本門法華宗宗会(信隆日系宗務総長)が、大本山妙蓮寺卯木講堂で開催され、高邊日援管長のお話に続き、信隆総長の宗教方針の後、予決算他第十二号議案まで審議され、承認可決された。  
 ◆四月十二日、大本山妙蓮寺で春季大法要が奉修された。春季志憲法要以下諸法要が厳修された。  
 ◆本門法華宗学院(藤井宏長学院長)では第百二十回教学講習会を三月二十八日、二十九日、第百二十一回教学講習会を六月二十二日、二十三日に、大本山妙蓮寺卯木講堂に於て、開催。  
 ◆同学院教育部より、平成十九年三月二十五日付で、立正大学北川前隆先生講述の「四帖抄に聞く(四)」、法華宗教学研究所所長大平宏龍先生講述の「日蓮教学の大綱」名目を考える(一)が発行された。  
 ◆本門法華宗学院布教部では、布教師「生きる」第四十八号、信報「一行」第百六十七号を各々七月一日付で発行。(木村光正)

## 国柱会

◆平成十八年十一月十九日、妙宗大霊廟例月供養会厳修。同日、第五回日蓮主義講習会開催。テーマは「撰受と折伏」。  
 ◆十二月九日、申孝園ロケタスヴィラ入居者合同慰霊祭厳修。十七日、妙宗大霊廟例月供養会厳修。二十三日、天長節慶法要厳修。二十五日、大正天皇祭厳修。三十一日、送迎新式厳修。  
 ◆平成十九年元旦、明治神宮参拝・元旦大國禱・新年拝賀式厳修。同日午後、新酒拜賀式厳修。七日、昭和天皇祭厳修。同日、武蔵野御陵参拝。二十一日、妙宗大霊廟例月供養会厳修。  
 ◆二月四日、理事会開催。十一日、紀元節慶法要厳修。十五日、釈尊涅槃会報恩法要厳修。十六日、聖祖降誕会慶法要厳修。十八日、妙宗大霊廟例月供養会厳修。同日、第六回日蓮主義講習会開催。テーマは「仏教教理の基礎知識」。  
 ◆三月四日、中央連合協議会主催の「申孝園のつどい」を本部にて開催。主なテーマは、「本尊」。十八日、第七回日蓮主義講習会開催。テーマは、「仏の一大事因縁」。二十七日、妙宗大霊廟春季彼岸大供養会厳修。(森山真治)

## 京門連

◆一月二十四日午後四時より、門連理事會・懇親會(本能寺文化会館)平成十八年度会務報告・決算・監査報告・平成十九年度会務予定。二月十六日、午後一時より頂妙寺客殿において総会。新年度役員紹介、各種議案審議・承認。午後二時三十分より、頂妙寺本堂にて導師水田日洵貫首現下導師のもと宗祖降誕会。  
 ◆三月十四日、理事会。開宗会・夏季大學について(日蓮宗一宗務所において)。  
 ◆四月二十八日、開宗会(比叡山横川定光院)。  
 ◆六月二十五日、理事会。夏季大學の件、お会式の件。(日蓮宗一宗務所において)  
 ◆八月二十六日午前十時より夏季「第四十四回大學」(本能寺文化会館)。日蓮宗大本山妙蓮寺貫首南條日慈現下

## 日蓮聖人門下連合会

●目的  
 本会は日蓮聖人の理想を実現するために、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、團結を強化することを目的とする。  
 ●事業  
 本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。  
 1、祖廟護持の組織強化  
 2、教育事業の提携  
 3、布教の連合強化  
 4、懇談会・研究会・講演会等の開催  
 5、各種出版物の刊行  
 6、海外布教の提携及び交流  
 7、対外的な各種の運動  
 8、その他  
 ●加盟団体  
 日蓮宗 法華宗本門流  
 顕本法華宗 法華宗陣門流  
 本門佛立宗 日蓮本宗  
 法華宗真門流 本門法華宗  
 国柱会 日本山妙法寺  
 京都門下連合会